

2019年3月期 連結決算実績

(決算補足説明資料)

株式会社 **ヤギ**
(証券コード 7460)

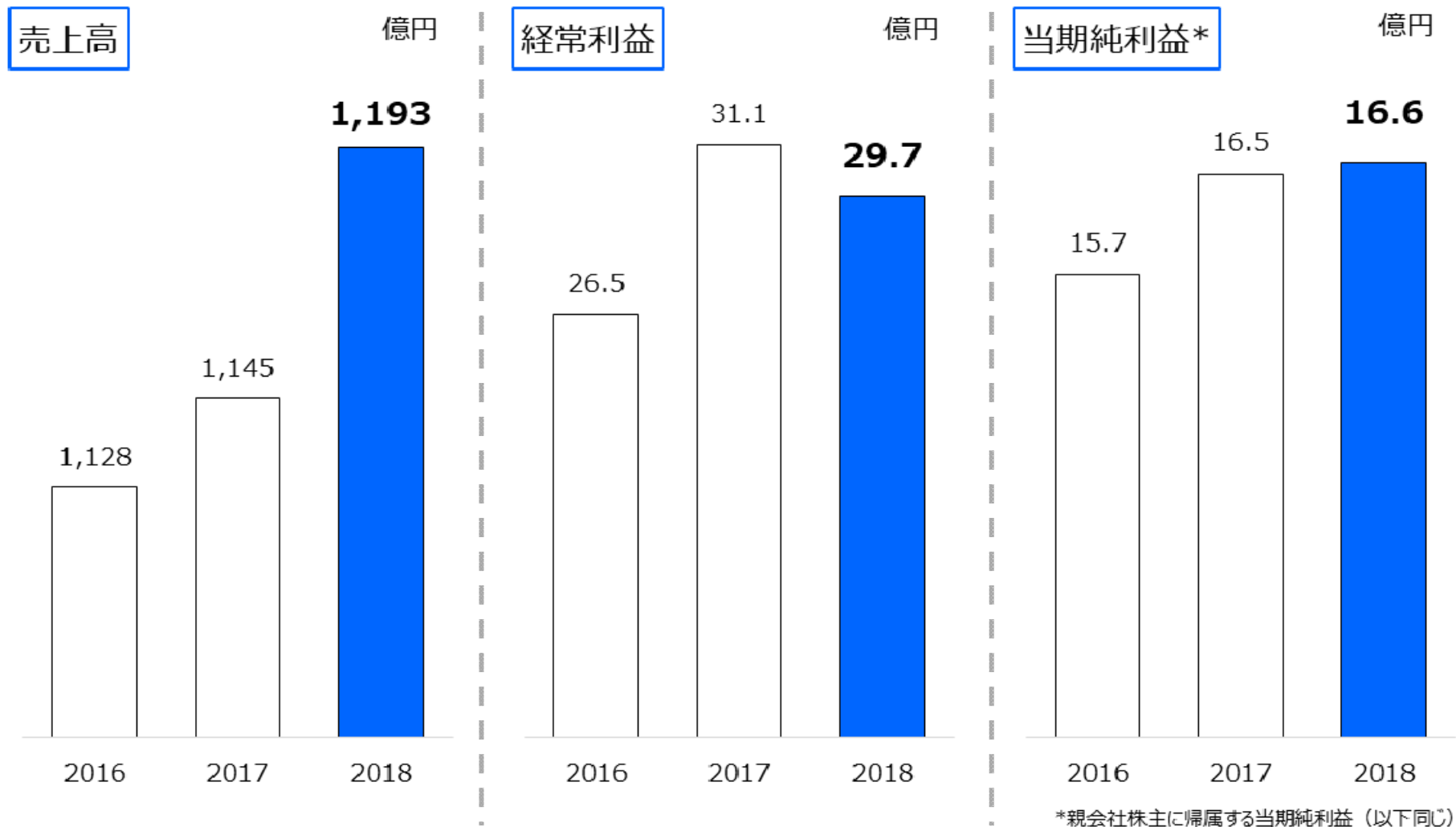
2019年5月13日

将来見通しに関する注意事項：本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- 1 .2018年度決算の概要
- 2 . 分野別売上高の推移
- 3 .経常利益増減要因
- 4 .バランスシートの状況
- 5 .キャッシュフローの状況
- 6 .2019年度 業績予想
- 7 .中期経営計画の進捗状況

1.2018年度決算の概要【連結】

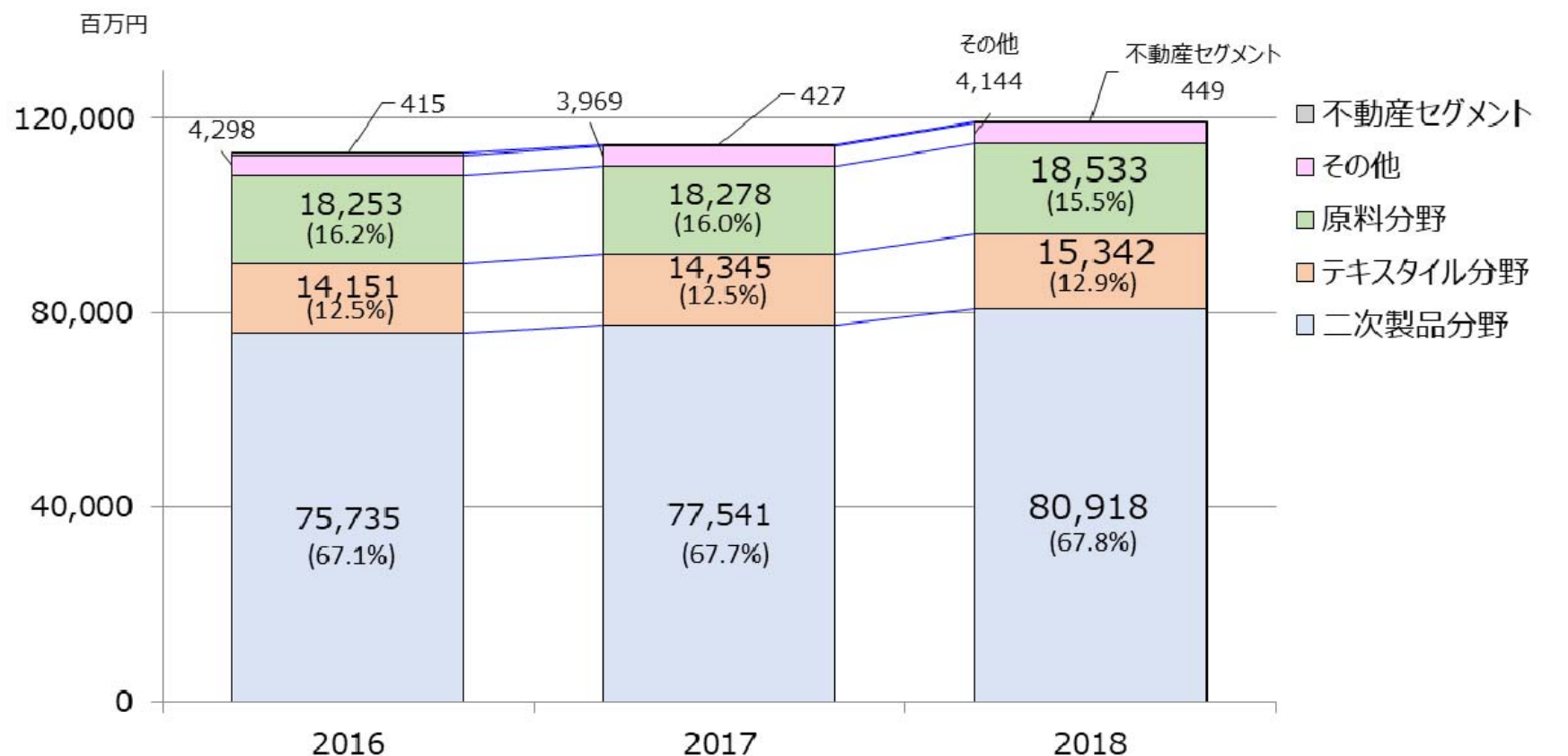
- 売上高1,193億円（前期比+4.2%）、経常利益29億円（▲4.3%）、当期純利益16億円（+0.6%）と増収 経常減益、当期純利益は横ばい



*親会社株主に帰属する当期純利益（以下同じ）

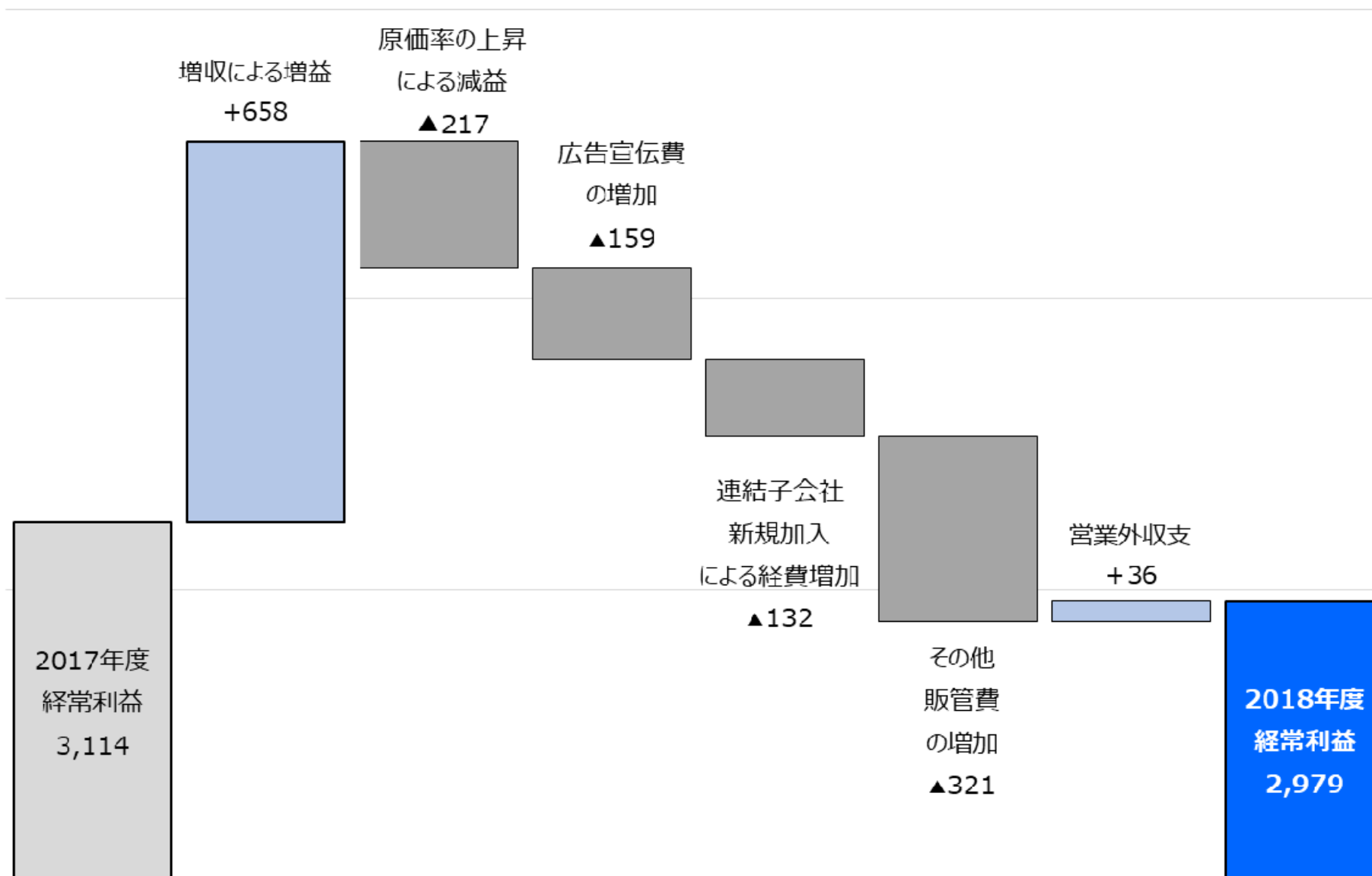
2. 分野別売上高の推移【連結】

- 二次製品分野は800億円を超え、売上高構成比は67.8%（前期比増減+4.4%）
- 原料分野は微増収（+1.4%）、構成比は15.5%
- テキスタイル分野も増収（+7.0%）、構成比は12.9%
- その他41億円、不動産セグメントは4.5億円



()内の%は売上高構成比

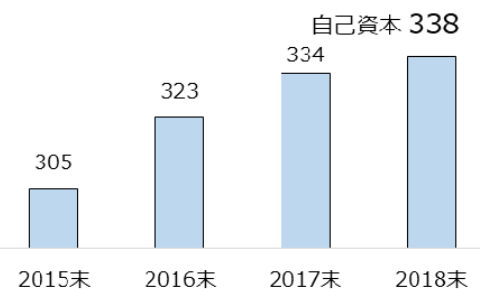
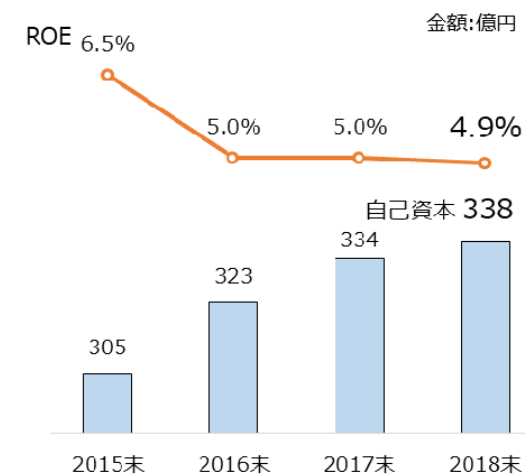
3. 経常利益増減要因【連結】



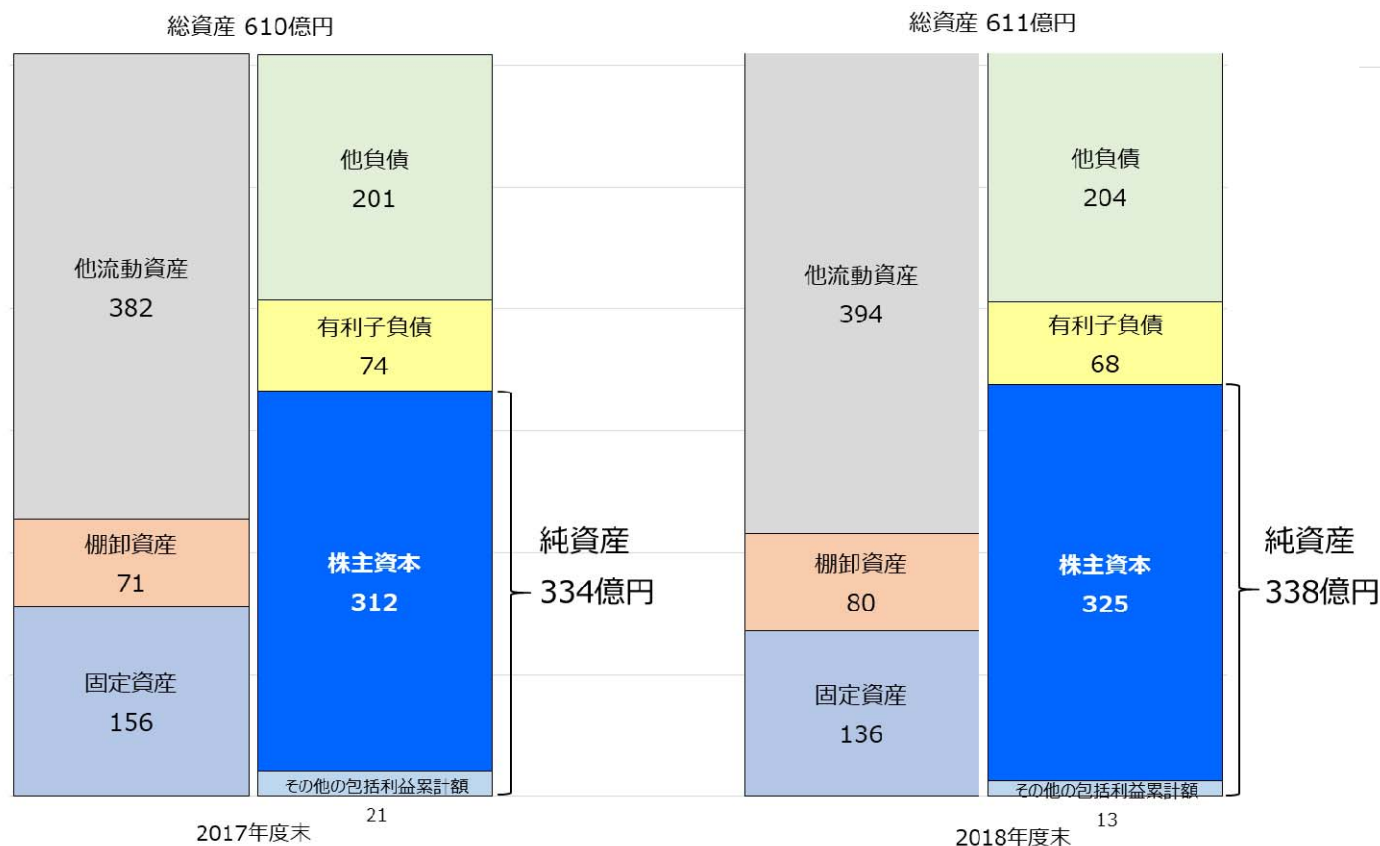
単位：百万円

4. バランスシートの状況【連結】

- 自己資本は+4億円（株主資本は+13億円）
- 自己資本比率は55.4%と上昇
- 自己資本の増加に比べ、純利益が横ばいでROEはわずかに低下



	2017末	2018末
自己資本比率	54.8%	55.4%



5. キャッシュフローの状況【連結】

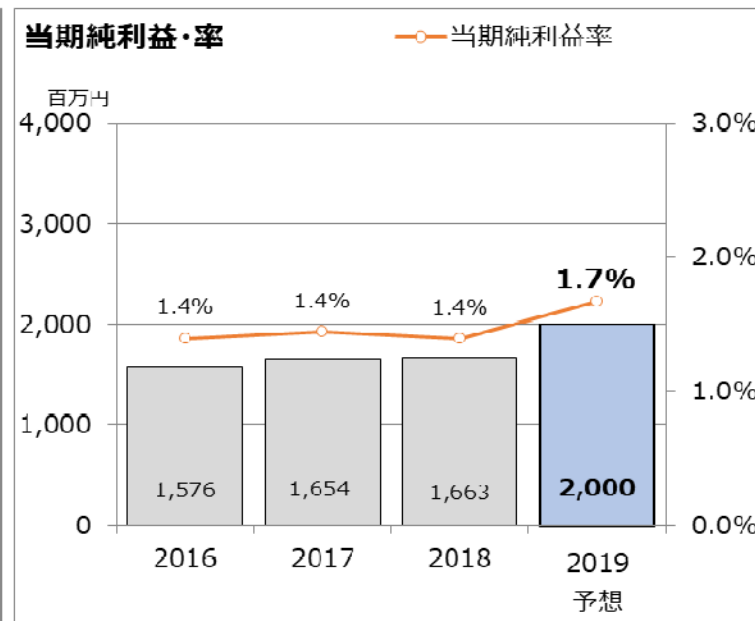
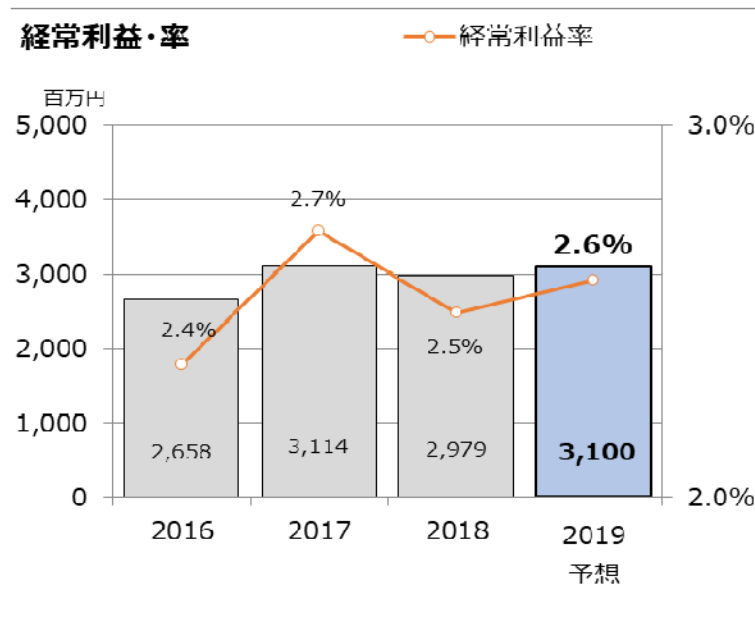
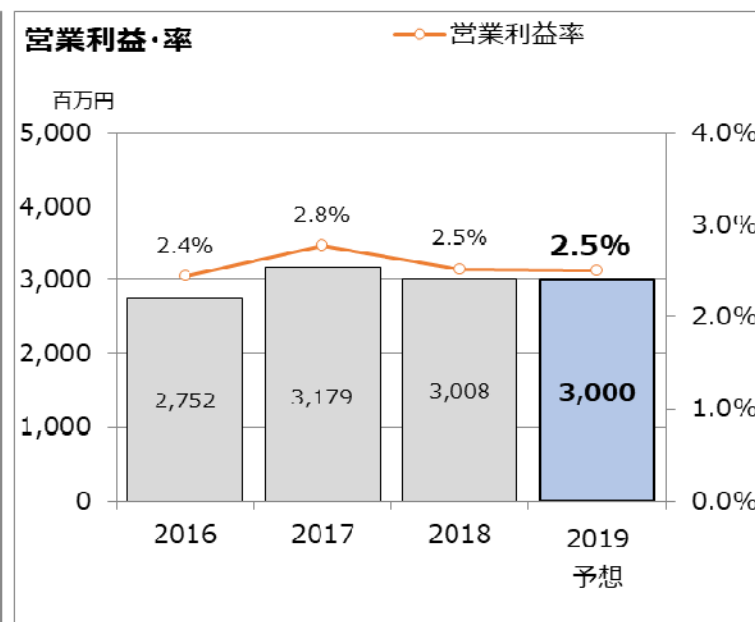
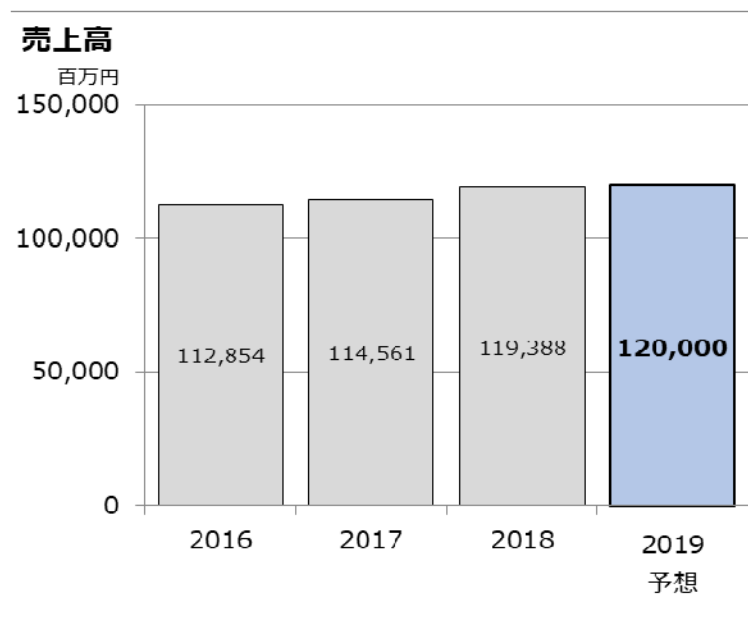
	百万円		
	2017	2018	
税金等調整前当期純利益	2,830	2,822	
減価償却費	264	254	
持分法による投資損失	91	181	
金利他	▲ 881	▲ 562	
小計	2,305	2,695	
運転資本増減	▲ 3,042	▲ 1,468	
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 737	1,227	税金等調整前当期純利益等
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 991	▲ 699	関係会社株式の取得及び無形固定資産の取得等
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,307	▲ 957	長期借入金の返済
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	▲ 3,044	▲ 432	
現金及び現金同等物の期首残高	6,555	3,511	
現金及び現金同等物の期末残高	3,511	3,079	

6.2019年度 業績予想【連結】

金額：百万円

	2018	2019 予想	前期比 (増減)	増減率
売上高	119,388	120,000	+ 612	+ 0.5%
営業利益	3,008	3,000	▲ 8	▲ 0.3%
営業利益率	2.5%	2.5%	0.0pt	
経常利益	2,979	3,100	+ 121	+ 4.1%
経常利益率	2.5%	2.6%	0.1pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,663	2,000	+ 337	+ 20.3%
当期純利益率	1.4%	1.7%	0.3pt	
1株当たり当期純利益	201.52	242.07		
配当金	47.00	47.00		
配当性向	23.3%	19.4%		

6.2019年度 業績予想【連結】



7. 定量目標の進捗状況【連結】

- 重点施策「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」を推進
- 原料から二次製品分野及びグループ会社と互いの強みを活かし総合力発揮を強化
- 2018年4月に新領域への挑戦として「戦略事業推進部門」を設置し事業投資を加速
- 売上高は概ね当初計画通り進捗、投資が先行し経常利益は当初計画未達
- 最終年度は厳しい経営環境のなか重点施策を進め、前期比増益を目指し次期中計の布石とします

